

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和7年9月12日 評価結果を決定。

(2) 評価の方法

本市教育委員会事務局内において、事後評価を実施。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標を達成することができた。
これにより、学習環境の質的な向上において大きな効果をあげることができた。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

小学校2校(校舎1校、屋内運動場1校)について、障害を有する児童や教職員、災害時に避難場所とされた場合に障害者等が円滑に学校施設を使用できるよう、昇降口の開き戸を引き戸に変更し、スロープを設置する等、学校環境の向上を図ることができた。

小学校10校(校舎2校、屋内運動場8校)、中学校5校(校舎1校、屋内運動場4校)について、災害時に避難所としても活用される校舎及び屋内運動場のトイレの老朽化に伴い、洋式化やバリアフリー化、臭気対策、給排水管の更新等の改修工事を実施し、学校環境の向上を図ることができた。

小学校5校、中学校3校の校舎について、老朽化した既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることができた。

南陵中学校の内装を木質化し、学校環境の向上を図ることができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況